



873号  
2019年11月26日  
郵政産業労働者ユニオン  
呉支部発行



←中国地本HPへ  
PC・スマホ等から  
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

# 待ち受ける試練 続編 2020年3月期の決算

## 中間決算発表

2020年3月期の中間決算発表が11月14日にあった。

日本郵政グループの中間純利益は前中間期比で128億円増加し、2365億円の黒字だった。

配当も予定通りで、かんぽ保険やゆうちょ銀行の問題の影響は中間決算では限定的だったと言える。問題の影響はこれからであることも、決算発表で触れていた。

配当予想は50円と修正せず、自己株式の取得や消去についても検討される。

各事業の概要である。

## 郵便・物流事業

減少を続けていた郵便物は、1.1%の増加に転じた。

選挙や増税の影響で、利用が増えたが一時的な要因が大きい。

ゆうパックは0.2%増加に対して、ゆうパケット

は21.3%増となった。配達担当者も追跡郵便物の増加は日々の業務で実感している。

営業収益は増え、費用が抑えられた結果、営業損益は前期比331億円増の283億円の黒字となった。

前期は47億円の赤字。民営化後に中間決算で黒字となったのは今回が初である。

## 金融窓口事業

かんぽ保険などの営業自粛で、営業収益はマイナス111億円。

しかし費用が大幅抑えられた結果、前期比80億円プラスで360億円の黒字であった。

## 国際物流事業

オーストラリア経済の減速感と人件費など費用の増加で前期47億円の黒字から、63億円の赤字となった。

為替の影響が8%以上

あり、減益に拍車をかけた。

## 日本郵便

国際物流の為替影響が大きくなり、567億円の黒字で、前期比312億円アップとなった。

## ゆうちょ銀行

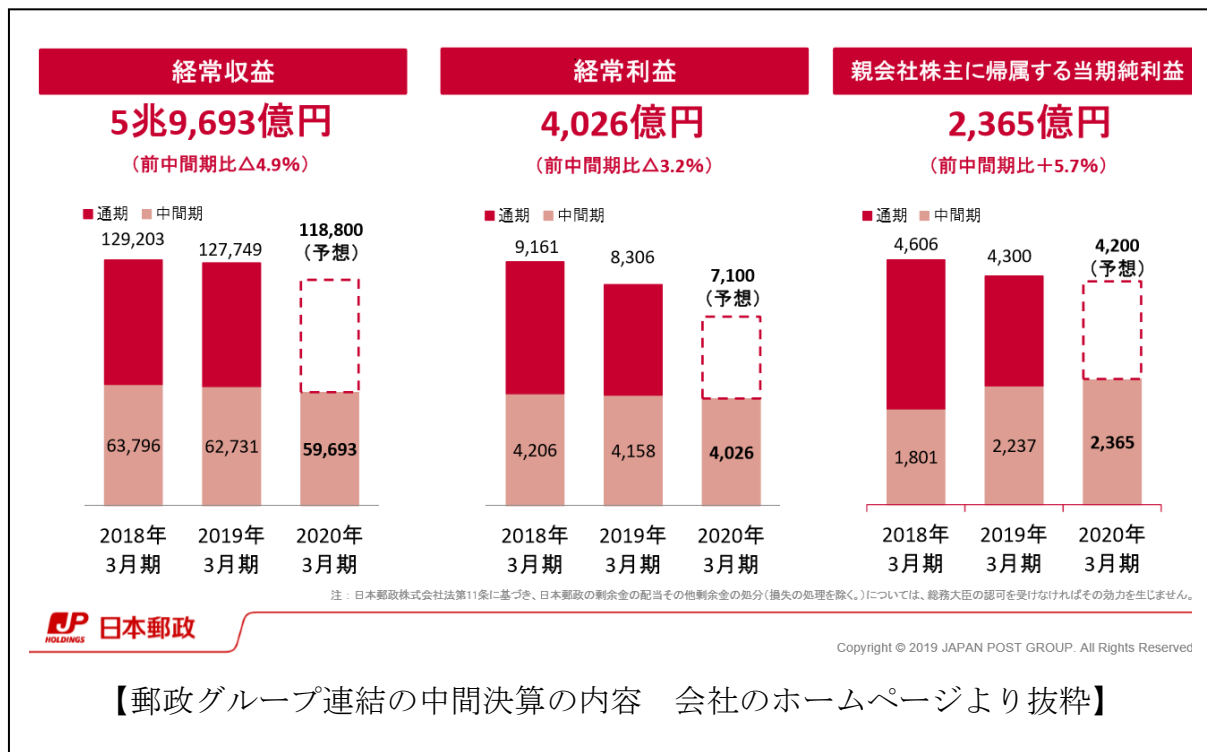
国債利息の減少を主に減収減益であるが、147億円の中間利益を上げた。前期比では145億円利益は減った。

貯金残高は181兆9026億円と約9千億

円増加。

## かんぽ生命

保有契約の減少や契約調査で費用の増加はあったが、中間利益は763億円と前期比75億円増加。



【郵政グループ連結の中間決算の内容 会社のホームページより抜粋】

## 今後の予定

- 12月10日(火) 17:00~  
第3回呉支部執行委員会  
支部事務所

次号は 12月10日 予定

## 忘年会のお知らせ

日時 11月30日(土) 18時~  
場所 一とり (呉市中通1丁目5-15)  
会費 正社員4千円 非正規2千円  
恒例のビンゴ大会もあります

# 金銭的負担と社会的責任

## 営業手当の返納請求

2重払いが確認された契約者には、徐々に返金が始まっている。

調査によって乗換え契約や契約無効と認められれば、募集手当の返納もこの先、ありえるだろう。

募集できない現状で、更に手当の返納は生活に直結する。

募集手当は給料明細に記載されており、給料と一緒に支給されているが、返納の場合も給料から、強制

的に天引きされる。

退職後は、天引きができない為、手当返納の請求が送られてくる。

基本給を下げた事で、返納額も大きくなった。

手当返納は基本2年だが、仮に過去5年分まで遡って返納となると相当な金額となる。

これまでの基本給減額等と手当の一部相殺など調整しないと社員ばかりが被害を受ける。

下げた基本給は戻したが、手当返納に対する指針を会社は示していない。

返金請求をしないならいいが、違反をしたのは社員だからと、問答無用と回収し兼ねない。

収入が減った上に、処分や返納となれば生活できない事態になり得る。

前号で、処分される前に退職しようとする退職希望者が増加したことは記載したが、金融庁から退職を安易に認めないように要望されており、引き留めできない場合は、調査の協力をするという誓約書を書かせているというから、

事態の深刻さがわかる。

営業職から、希望者の一部は日本郵便に転籍も開始されている。

会社は転籍させて、調査協力と募集手当回収、処分と職員に責任を押し付けてくることは想像しやすい。

しかし退職していれば、状況が異なる。

手当で返納を請求して、その金額を指定した通り振り込んでくれればいい。

しかし、返金されず放置されるとどうなるだろう。請求権に対しては時効があり、放置され続けると会社は権利消滅を避ける

為に、裁判する必要が出る。

個人に対して、返還請求をすることになるが、会社の請求金額が全額認められる事は考えにくい。

基本給の引き下げやパワハラなどの職場実態があり、過失があるからだ。

また弁護士費用や裁判費用など経費もかかり、裁判するにも慎重に行う必要がある。

調停や和解もあるだろうが、どちらにしても会社にとって負担が大きい。

## 弁護士会が動き出す

貸金業のグレーゾーンが話題となり、過払い金を受け取れるとのテレビCMを見た人は多いだろう。

全国各地で「過払い金返済請求」の裁判が行われた。これと同じことが、「かんぽ生命保険」で起こる可能性が出てきた。

各テレビ局で、高齢者に対して、短期に多数の契約と解約を繰り返した事実や契約者が認知症であることを知りながら契約していた事実が連日報道された結果だ。

職員の実績と募集手当の為に、数万円〜数百万円の損失をお客様に与えていたと判断されれば、損害賠償請求を行える。

会社は「個別な案件に対

してはコメントできない。

と繰り返すしかないが、裁判となると厳しい現実となるのは、目に見えている。

法令違反や社内規定違反の実態が明らかとなり、過失があるのは、会社側だ。

裁判されれば、旧契約への回復や損害分の返金となり、経費や予算がかかる。

弁護士会が、各都道府県で、相談を呼び掛けているのは、過払い金と同様に、勝てる可能性が高い裁判であり、保険という性質上金額が大きいことが挙げられる。

弁護士にとっては、過払い金に変わる案件となる。集団訴訟となれば金額も大きく、郵便局なら資金の回収もし易い。

実際に裁判となると、募集した社員も証言を求められ、出廷もある。

原告が会社と社員に対して、損害請求という形になれば、社員に対しても賠償金の負担義務が生じる。

法令違反でもあれば、弁護士の余地がない。

退職していても、法廷に出廷する義務は変わらず、転職した仕事にも影響が出る。

出廷しなければ、原告の請求が認められて、法的拘束力を持つから放置する事はリスクしかない。

年賀はがき 2020 の検索結果 (終了120日分) 857件

落札価格 最安 100円 ~ 平均 15,852円 ~ 最高 370,000円

現在の検索条件 < 年賀はがき + インクジェット + 100枚 + スヌーピー + 50枚 + 200枚

カテゴリ < 落札価格の高い順 > 20件表示 <

アンティーク、コレクション (811)

スポーツ、レジャー (38)

コミック、アニメグッズ (6)

すべて表示

価格 <

~9,999円 (607)

~24,999円 (752)

~62,999円 (810)

~98,999円 (820)

~156,999円 (843)

~370,999円 (857)

価格指定

円 ~ 円

絞り込む

すべてのオークション

アンティーク、コレクション > 切手、はがき > はがき

送料無料 2020年 年賀はがき 無地インクジェット 7000枚

未使用 送料別

落札 370,000円 開始 370,000円

入札 1 終了日時 11/04 17:39

アンティーク、コレクション > 切手、はがき > はがき

2020年 年賀はがき 無地インクジェット 4000枚 完箱 送料無料

未使用 送料別

落札 249,000円 開始 228,000円

入札 12 終了日時 11/13 20:56

アンティーク、コレクション > 切手、はがき > はがき

送料無料 2020年 年賀はがき 無地インクジェット 4000枚

未使用 送料別

落札 249,000円 開始 245,000円

### 【オークションサイトの年賀状落札状況】

会社は転売を禁止しているが、依然オークションサイトでは多くの出品があり、落札されている。

一箱4000枚を値下げしてそのまま出品している人もおり、会社の体制や社風を変えることが出来ていない。

不適正営業はそれほど根深い問題だ。

保険営業では、不適正営業の土台として、営業成績によって、社員をランク付け、高実績者にはアメを、低実績者はムチを与える事を会社主導で行っていた。

見せしめやパワハラ研修を続けた結果、お客様第一で仕事をしている人ほど職場から去り、実績の為ならと違反に手を染めてでも、実績を出し続けた人ほど出世できる環境となった。

不適正営業の調査でも、違反を認めれば責任を軽くするが、認めなければ、重い処分をすると脅し交じりに責任を社員に押し付ける体制は変わっていない。

法令違反の内容によって、処分内容に違いがでるだろうが、それが新たな火種となる。

実績を出して出世した人ほど、重大な違反をしている場合が多く、調査後も内部告発で発覚が相次ぎそうだ。